

◆20 Web講習(録画配信・eラーニング)

「20-B JCCA以外の建設系CPD協議会構成団体提供」

登録できる記録	<p>主催者が当協会以外の建設系CPD協議会構成団体の本部・支部・傘下組織である場合や、当協会以外の建設系CPD協議会構成団体が認定した録画配信やオンデマンド配信によるWeb講習やeラーニングで、建設コンサルタントの継続教育や技術研鑽に関係する内容を自宅等で個々に視聴した場合に登録できます。なお、eラーニングとは、確認テストや課題をクリアする必要のある受講形式を指します。</p> <p>「受講証明書」に以下の記載があるWeb講習やeラーニングの場合は、建設系CPD協議会構成団体の認定プログラムですので、本形態内容で登録できます。入力画面の「主催・認定団体」欄で、以下に該当するプログラム認定団体を選択した上で、「主催者」欄に認定団体の支部名等や実際の主催者名も追記して申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JSCE」の記載がある場合は「土木学会」の認定プログラム ・「CPDS」や「6桁のプログラム番号とユニット数」の記載がある場合は「全国土木施工管理技士会連合会」の認定プログラム ・「設計CPD学習コード」の記載がある場合は「全国測量設計業協会連合会」の認定プログラム <p>「建設技術・工法動画サイト」の動画視聴は、本形態内容で登録できますが、ビデンスとして「受講証明書」の他、「視聴完了したCPDS認定動画一覧」等、建設系CPD協議会構成団体である全国土木施工管理技士会連合会の認定プログラムであることと、視聴時間が確認できる資料が必要となります。</p>
登録できない記録	<p>同一プログラムを複数視聴した場合でも、登録できるのは一視聴分のみです。</p> <p>受講したことが対象となりますので、出展、展示等、主催者側での視聴はCPD対象外です。</p> <p>受講したことが対象となりますので、Web講習の一部に、趣旨説明等を含まない簡単な開会・閉会挨拶、表彰式、アンケート入力等が含まれる場合は、除いて申請してください。</p> <p>主催者が当協会以外の建設系CPD協議会構成団体の本部・支部・傘下組織である場合や、当協会以外の建設系CPD協議会構成団体が認定したプログラムであっても、業務の一環である以下のようなプログラムは登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者等講習会 ・技術連絡会議 ・職長・安全衛生責任者教育 ・事故防止対策委員会 等 <p>主催者が当協会以外の建設系CPD協議会構成団体の本部・支部・傘下組織である場合や、当協会以外の建設系CPD協議会構成団体が認定したプログラムであっても、業務遂行上必要として発注者が受注者に参加を義務付けた以下のようなプログラムは、受講者の立場や目的にかかわらず登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全大会 ・安全協議会 ・合同説明会 等

登録できない記録	<p>主催者が当協会以外の建設系C P D協議会構成団体の本部・支部・傘下組織である場合や、当協会以外の建設系C P D協議会構成団体が認定したプログラムであっても、業務遂行上必要として、法的に受講が義務付けられている以下のようなプログラムは、自己研鑽ではないため、受講者の立場や目的にかかわらず登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足場の組立等作業主任者技能講習 ・酸素欠乏、硫化水素危険作業主任者技能講習 ・ロープ高所作業特別教育講習 ・クレーン運転の業務に係る特別教育 ・フルハーネス型安全帯使用作業に係る特別教育 ・火薬類保安責任者保安教育講習会 ・鉄道敷地内等における調査や工事に係る安全教育 ・安全管理者選任時研修 ・監理技術者講習 ・運転保安講習 ・消防設備士講習 等 <p>主催者が当協会以外の建設系C P D協議会構成団体の本部・支部・傘下組織である場合や、当協会以外の建設系C P D協議会構成団体が認定したプログラムであっても、資格取得や資格更新登録のために受講が必須となっている以下のようなプログラムは、自己研鑽ではないため、受講者の立場や目的にかかわらず登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 ・ふくしまME講習会 ・道守養成講座 ・補償業務管理士研修 ・危機管理士養成講座 ・河川維持管理技術講習会 ・道路橋点検士技術研修会 ・各点検技術者資格認定講習会 ・地すべり防止工事士技術講習会 ・舗装施工管理技術者講習 ・コンクリート診断士講習 ・コンクリート技士・主任技士研修 ・道路橋点検士更新講習会 ・高速道路点検診断資格更新講習会 ・橋梁点検士登録更新講習 ・橋梁点検技術更新研修会 ・地質調査技士登録更新講習 ・公共建築工事品質確保技術者更新講習 ・補償業務管理士登録更新講習 ・建築積算士更新講習 ・R C C M資格再登録及び更新登録の要件となっている更新講習 等 <p>当協会以外の建設系C P D協議会構成団体が認定したe ラーニングであっても、主催者及びエビデンスの発行者が自分の所属会社（C P Dシステムに登録されている勤務先名）の場合は、本形態内容では登録できません。</p> <p>「確認テストや課題をクリアする必要のある受講形式」で、確認テストの結果等が記載されたパソコンの修了画面等、企業内のシステム画面から出力されたことが、会社ロゴや画面の表示方法等で確認できるエビデンスがあれば、形態内容「20 Web講習(録画配信・e ラーニング)」の「20-C 上記20-A、20-B以外(1時間0.5単位)」で申請してください。</p> <p>企業内研修の録画内容をWeb配信により自宅等で個々に視聴した場合は、エビデンスに「e ラーニング」と記載されている場合でも、形態内容「5企業内研修(1時間1単位)」で申請してください。その場合のエビデンスは、「C P Dシステムに登録されている勤務先名」、「エビデンスの受講者の所属会社名」、「エビデンスの主催者」、「エビデンスの発行会社名(証明印)」が全て一致している必要があります。</p> <p>e ラーニング中に、エビデンスに記載されている視聴時間(学習時間)や、定められている回答の所要時間や想定学習時間を超えて行った、ご自身での学習時間はC P D対象外です。</p> <p>資格取得(受験)のための視聴はC P D対象外です。</p> <p>英会話やTOE I C等、語学に関するプログラムはC P D対象外です。</p>
----------	--

主催・認定団体	プルダウンから、主催団体かプログラムの認定団体に該当する建設系CPD協議会構成団体名を選択してください。
プログラム番号	入力必須項目ではありませんが、受講証明書等にプログラム番号が記載されている場合は、できるだけ入力してください。
プログラム名	<p>単に「Web講習」や「eラーニング」とするのではなく、エビデンスに記載されている具体的な講習会名やコース名を入力してください。</p> <p>Web講習はプログラムごとに申請してください。</p> <p>同日に、同じ主催者の異なるプログラムを複数視聴した場合でも、エビデンスが発行されているプログラムごとに申請してください。</p> <p>eラーニングは、1コースごと（エビデンスごと）に申請してください。</p> <p>同日に、同じ主催者の異なるプログラムを複数視聴した場合でも、エビデンスが発行されている1コースごとに申請してください。</p>
主催者	<p>「主催・認定団体」欄のプルダウンで選択された建設系CPD協議会構成団体名が自動入力されます。</p> <p>主催者が、「主催・認定団体」欄のプルダウンで選択された建設系CPD協議会構成団体の支部や傘下組織の場合は、自動入力された建設系CPD協議会構成団体名の下段の自由入力欄に、支部名や傘下組織名を追記してください。</p> <p>「主催・認定団体」欄のプルダウンで選択された建設系CPD協議会構成団体で認定されたプログラムの場合は、自動入力された建設系CPD協議会構成団体名の下段の自由入力欄に、実際の主催者名を追記してください。</p> <p>主催者及びエビデンスの発行者が自分の所属会社（CPDシステムに登録されている勤務先名）であるeラーニングは、形態内容「20 Web講習(録画配信・eラーニング)」の「20-C 上記20-A、20-B以外（1時間0.5単位）」で申請してください。</p> <p>ただし、eラーニングは、「確認テストや課題をクリアする必要がある受講形式であること」が要件となります。企業内研修の録画内容をWeb配信により自宅等で個々に視聴した場合は、エビデンスに「eラーニング」と記載されている場合でも、形態内容「5企業内研修（1時間1単位）」で申請してください。</p>
開催日	連日開催以外のプログラムは、視聴日ごとに申請してください。エビデンスに視聴日の記載がない場合は、自分で記入してください。

プログラム内容	「開催日」には、「開催日」欄で入力された「開催開始日」が自動入力されます。
	「視聴時間」は、「参加実時間」欄の時間的根拠となる「休憩を除いた視聴実時間」を入力してください。時間は4文字の半角数字のみ（例：0900）で入力できます。 エビデンスに単位数が記載されている場合、視聴時間はその記載単位から算出するのではなく、ご自身が実際に視聴した時間を入力してください。 建設系CPD協議会構成団体は各団体で運用が異なるため、当協会の規定に則り、実視聴時間で入力した場合、エビデンスに記載されている単位数と入力画面のCPD単位が異なる場合が生じますが、実際に加算されるCPD登録単位は「入力画面で自動計算されるCPD単位」で計算されます。
	「視聴内容、講師名等」は、入力した「視聴時間」に対応する内容を具体的に入力してください。 ・内容を入力後に[行追加]ボタンをクリックすると、直前の行と同じ日付が開催日に入力された行を追加することができます。 入力例 10：00～12：00 基調講演〇〇〇について(演題等) 講師〇〇〇〇 13：00～14：00 〇〇分野〇〇〇(発表内容)他 発表者〇〇〇〇他 14：10～15：00 〇〇分野〇〇〇(発表内容)他 発表者〇〇〇〇他 ・技術発表等 20～30 分刻みで、入力する行が非常に多くなる場合は、数件の発表を統合して入力しても構いません。 ・連日開催のプログラムを受講した場合は、追加した行の開催日を変更し、「開催日欄の開催終了日」の日付と一致させてください。
	eラーニングで、回答の所要時間や想定学習時間が定められている教材は、この時間を参加時間として申請してください。エビデンスでも確認できる必要があります。
	「合計視聴時間」は「視聴時間」の合計が自動計算入力されます。
参加実時間	「プログラム内容」欄の「視聴時間」を時間換算したものが、小数第2位表示第3位以下切捨てで自動入力されます。
CPD単位	「参加実時間×1」の数値が自動入力されます。
CPD登録単位	実際に加算されるCPD単位を「CPD記録単位」とし自動入力されます。

エビデンス	<p>「主催者発行の主催者の証明印のある受講証明書」が必要となります。主催者によっては証明書を発行しない場合がありますので、システムのトップ画面「各種受講証明書等ダウンロード」より「Web講習(録画配信・eラーニング)受講証明書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、主催者から証明印をもらってください。原本でなくても、メールのやりとりで入手した証明書で申請可能です。</p> <p>※各種受講証明書等ダウンロード</p> <p>https://www.cpd-jcca.jp/recFile.do?fn=init</p>
	<p>証明印を講習会や研修会の責任者の方の認印とする場合は、主催者名、部署名、役職名、氏名（フルネーム）の記載が必要です。</p>
	<p>連日開催のプログラムで、受講証明書に、各受講日と各日の参加時間が記載されていない場合は、「プログラム」や「日程表」等の確認資料も添付してください。</p>
	<p>当協会以外の建設系CPD協議会構成団体の認定プログラムの場合は、認定プログラムであることがエビデンスでも確認できる必要があります。主催者発行の受講証明書等にその旨の記載がない場合は、「建設系CPD協議会ホームページのプログラム検索結果」や、認定プログラムであることが確認できる開催案内等の資料も受講証明書と併せて添付してください。</p> <p>各団体が主催者宛てに発行した、認定プログラムであることの証明書のみでは認められません。</p> <p>※建設系CPD協議会ホームページ プログラム検索</p> <p>http://www.cpd-ccesa.org/prog_search.php?sc=1</p>
	<p>「受講証明書」に以下の記載がある場合は、建設系CPD協議会構成団体の認定プログラムと判断できますので、認定プログラムであることの確認資料の添付は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JSCE」の記載がある場合（土木学会認定プログラム） ・「CPDS」や「6桁のプログラム番号とユニット数」の記載がある場合（全国土木施工管理技士会連合会認定プログラム） ・「設計CPD学習コード」の記載がある場合（全国測量設計業協会連合会認定プログラム）
	<p>eラーニングは、確認テストの結果等が記載されたパソコンの修了画面等で、そのeラーニングの取扱い機関からのみ提示されたシステム画面であることが、主催者ロゴや画面の表示方法で確認できるものが必要となります。</p>
	<p>エビデンスに「自分の氏名（フルネーム）」の記載があることを確認してください。記載がない場合は、自分で記入してください。</p>
	<p>A4サイズで添付してください。</p>